

学級活動指導案

平成19年12月11日(火)第5校時

6年1組(教室)指導者 石田 俊彦

(授業改善の視点)

「課題把握」の場面で自分を含めた学級全体の「今の姿」を具体的に知ったり、「課題追究」の場面で児童や保護者からの話をもとに「めざす姿」を共通理解したりする学習過程を取り入れることによって、「実践への意欲付け」の場面での活動が積極的なものになり意欲的な実践活動に結びつかせられるであろう。

1 題材名 家庭での学習や遊びなどについて工夫を加えよう!<(2)-(ア)及び(ウ)>

2 題材設定の理由

(1) 学習指導要領における位置

本題材は、小学校学習指導要領「第4章特別活動 第2内容 A学級活動」の「(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること。」の「(ア) 希望や目標をもって生きる態度の形成」及び「(ウ) 望ましい人間関係の育成」に基づいて設定されている。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、男子17名女子17名の計34名である。全体の雰囲気は明るく、自分の短所や欠点を改善していこうとする態度を示す素直な児童が多い。

本題材の学習に直接かかわる児童の実態について記述する。年度当初より活用している「学習と遊びの歩み」カードへの記述内容や事前に実施した「家庭における学習(自主学習)と遊びにかかわる意識や実際の状況等の調査」などから、次のように把握できた。

<家庭学習(自主学習)について>

半数以上の児童が家庭学習の習慣が身につけているが、まだ十分に行えていない児童も少なからずいる。

(毎日...8人、4~6日...14人、1~3日...14人、ほとんどしない...5人)

*家庭学習をする日には、どのくらいの時間するか?

15分未満...3人、15分~30分未満...9人、30分~1時間未満...12人

1時間~1時間30分未満...7人、1時間30分~2時間未満...3人、

2時間以上...0人

児童によって、家庭学習を行う生活時間帯は様々である。

学校から帰ってすぐ...17人、遊んでから夕食までの間...21人

夕食を食べてすぐ...13人、夕食後少しテレビを見たりしてから...18人

翌日早く起きてから...1人

家庭学習で行うものは固定化されており、幅広く行っている児童は少ない。しかし、少数ではあるが、他の児童によい影響を与えるような内容を行っている児童もいる。

読書...26人、算数ドリル・計算ドリル...11人、漢字スキル・漢字の練習...10人

市販のドリル...5人、脳トレ...5人、英語...4人、百マス計算...2人、

算数の復習...1人、ことばのきまり...1人、日記...1人、四字熟語...1人、

ハムスターの様子調べ...1人、音読...1人

家庭学習で工夫をしている児童は少ないが、他の児童に参考になるよい実践をしている児童がいる。

工夫をしていない... 24人、予定表を作っている... 2人、
市販のドリルを買ったりしている... 1人
ノルマを決めてやる。ノルマが終わるまで遊んだりマンガを読んだりしない... 1人
お母さんと一緒にやっている... 1人、色をつける... 1人

忙しかったりして、家庭学習ができないことがある。できない理由の詳細は以下の通りである。

忙しい時... 20人、習い事がある時... 6人、
家庭の事情・出かける時... 10人、疲れている時... 4人

<遊びについて>

半数以上の児童が遊びの習慣がついているが、十分に遊べていない児童も少なからずいる。

(毎日... 10人、4～6日... 11人、2～3日... 11人、ほとんどしない... 3人)

*遊ぶ日には、どのくらいの時間遊ぶか？

15分未満... 0人、15分～30分未満... 0人、30分～1時間未満... 3人
1時間～1時間30分未満... 4人、1時間30分～2時間未満... 11人、
2時間以上... 22人

平日は放課後から夕暮れまでの間の短い時間を使って、休日は午前や午後に時間をたっぷり使って遊んでいる。

4時～5時... 23人、5時～6時... 24人、6時～7時... 2人、7時～8時... 2人
8時～9時... 1人、9時～10時... 1人、(その他)... 1人(土・日は、午前、午後)

友達と外で遊べる児童はクラスの3分の1程度である。男子に多い。

*遊びの内容についての、一番多いパターンは？

1人で家の中でゲームやテレビなど... 5人
2人以上(家族)で家の中でゲームやテレビなど... 4人
2人以上(友達)で家の中でゲームやテレビなど... 1人
1人で外で体を動かさず遊び... 2人
2人以上(家族)で体を動かさず遊び... 3人
2人以上(友達)で体を動かさず遊び... 12人(男子が11人)
2人以上(友達)でお店などに行く... 8人(女子)

具体的な遊びの内容は、男女ともに室内でのゲームが一番多いが、男子はサッカーや野球などの遊びをする子も多い。女子はお店にお出かけをする子が多い。少数意見の中に、他の児童に参考になる意見もある。

(男子)ゲーム ... 15人	(女子)ゲーム ... 9人
サッカー... 14人	お店にお出かけ... 8人
野球 ... 7人	ボール遊び ... 5人
その他の少数意見	バスケット、鬼ごっこ、キャッチボール、ペットと遊ぶ 犬の散歩、持久走

遊びで工夫をしている児童は少ないが、他の児童に参考になるよい実践をしている児童がいる。

工夫をしていない... 20人、
早く帰る・走って帰る... 1人、時計を持つ... 1人、
時間がある時は、なるべく友達と遊ぶようにしている... 1人

忙しかったりして、遊びができないことがある。できない理由の詳細は以下の通りである。

用事があって忙しい時... 16人、家の都合... 11人、
宿題や自主学習がたくさんある時... 7人、帰りが遅い時... 6人、習い事... 5人

<家庭における学習と遊びのバランス>

年度当初にくらべると、バランスの取れた児童が増えてきているが、改善する必要のある児童が少なくない。

* 「学習と遊びの歩み」カードのこの1か月間の様子から
バランスが取れていると思われる児童... 4人
* アンケート（家庭における学習<自主学習>と遊びについて）の結果から
とても取れている... 1人 大体取れている... 13人
あまり取れていない... 17人 全く取れていない... 2人

次に、校内研修で目指している児童像「自他の大切さを認め合い、明るく前向きに行動できる児童」という観点からの実態について記述する。1学期末に実施した「自己・他者肯定感テスト」（福岡教育センター 2003 年作成）の結果によると、「自己肯定・他者肯定型」に属する児童が23人であり、自己や他者に対する見方がバランスのよい児童が多いことが分かる。反面、「自己否定型」が10人、「他者否定型」が2人おり、自己や他者を否定的に見ている児童も少なからずいることが分かった。ただ、自己を否定的に見ている児童の中には、高学年になってきて自分自身に厳しい目で見えるようになってきていることも考えられる。また、児童の日常の学校生活の様子を見ると、素直で優しい気持ちの児童が多いことが窺える。しかし、互いのコミュニケーションの不足から十分に気持ちが通じ合っていない場面が見受けられることもある。4月当初から比べると大分改善されてきているが、まだ人間関係がやや希薄であったり学級への所属意識が低かったりする児童がいる。しかし、一人一人の意識も高まってきているとともに、集団としての力も大分高まってきているので、さらに互いに協力して活動するような体験を多く積んだり、互いを理解し合えるような機会が持てたりすれば、人間関係なども改善されることが予想される。

(3) 題材観

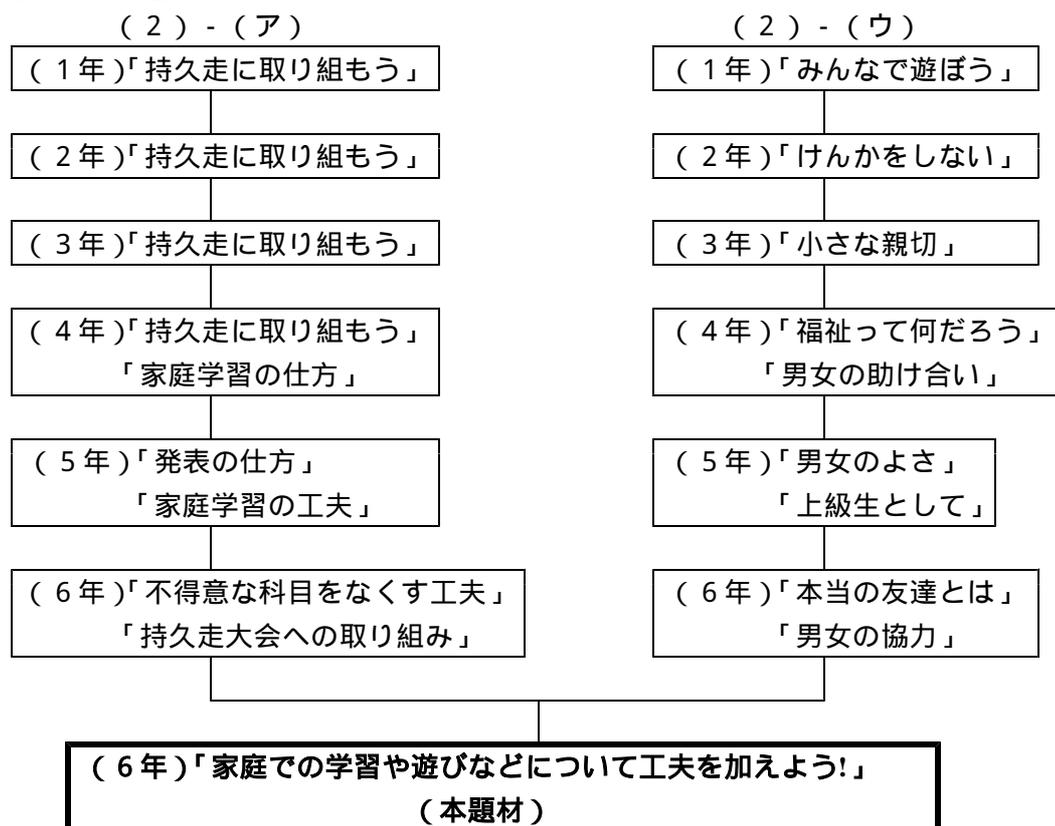
子ども達を取り巻く社会の状況は大変複雑化してきている。だからこそ、正に「生きる力」を育成することが叫ばれているのである。「生きる力」を育てるためには、少年期において、いわゆる知・徳・体をバランスよく身に付けさせることが必要である。つまり、基礎的な学力をしっかりと身に付けさせ、豊かな心を醸成し、体力を向上させる多様な場を子ども達に提供することが私たち大人の役目である。そのために、学校では様々な手立てを講じているところであるが、学校での教育だけでは不十分であることは言うまでもない。

やはり家庭での協力が必須条件である。子ども達の健やかな成長のためには、学校生活と家庭生活を充実させることが、車の両輪のように大切である。

本学級では、「児童の実態」の項でも述べたが、家庭での学習や遊びを十分に行えている児童はまだ少ない。家庭学習の充実、学校での学習を支え、真の学力を身に付けさせることにつながる。また、家庭での遊び、特にたくさんの友達との体を使った遊びは、[生きる力]のベースとなる体力を向上させるとともに、思いやりの気持ちを育み、他との人間関係を深くさせることにつながるものである。したがって、家庭での学習や遊びのバランスを取ることは、小学校の最終学年で、中学生活を目前としている児童にとって、大変有意義なことである。しかし、子ども達の現状は、それほどの必要性を感じていなかったり、生活の中でどのように工夫をしてよいか考えが及ばなかったりする状況である。したがって、今回の学習の中で、自分を含めたクラスの仲間たちの状況を把握させ問題点に気づかせたり、工夫をすることでバランスのよい生活を送れている児童の様子を知らせたりする場を設定する。そうすることで、それがよい刺激となって児童一人一人が自分の生活に工夫を加えようと意識を高めるものと期待できる。

以上のような考えから、本題材を設定した。

(4) 題材の系統性



3 指導の目標

家庭での学習や遊びなどについて振り返り、工夫を加えようと努力することができる。

4 評価規準

B 規準「おおむね満足できる状況」	A 規準「十分満足できる状況」
家庭での学習や遊びについて、目指すべき姿を踏まえた上で自分の状況について振り返るとともに、少しでもよい生活を送ろうと考えている	家庭での学習や遊びについて、目指すべき姿を十分に踏まえた上で自分の状況について細かく把握し、それに照らし合わせながらバランスの取れた生活を送るための具体的な手立てを考え、実践しようとしている。

5 指導方針（校内研修や人権教育、社会福祉教育にかかわる支援は とする。）

学習過程を「課題把握」、「課題追究」、「実践への意欲付け」の3段階に分け、学習活動を組み立てる。

「課題把握」の場面では、

- ・「学習と遊びの歩み」カードへの記述内容から分かることを伝えたり、事前に実施した「家庭における学習（自主学習）と遊びにかかわる意識や実際の状況等の調査」の結果や分析した内容を児童に発表させたりすることで、自分自身や級友の実態に気づかせる。なお、今回の学習は教師指導型であるため、児童一人一人が主体的に活動したり少しでも学習に対する意識を高めたりできるように、アンケートの結果や分析を児童にまとめさせる活動を事前に設定し、それを発表させるようにする。
- ・調査の結果は、グラフ等の掲示物を提示させることで、視覚的に理解しやすいようにする。

「課題追究」の場面では、

遊びや学習が充実している児童の保護者にインタビューした映像を視聴させることによって、級友の工夫の様子や我が子に対する保護者の期待や温かい思いなどに気づかせる。

- ・映像の視聴後、内容を振り返ったり、工夫している児童の意見を聞き合ったりしながら、「目指す姿」をまとめる。

「実践への意欲付け」の場面では、

「『学習と遊び』充実作戦」カードに記入させることで、実践の意欲を喚起させる。

- ・具体的な工夫について発表させることで、集団としての実践意欲を喚起させる。

家庭での学習や遊びに対して工夫をしている児童の意見を意図的指名により適切に活用する。

児童がまとめ発表している内容や発言している内容について、常に受容的な態度で聞く。アンケートの結果・分析の発表や工夫の様子の発表に対して、静かに聞き、賞賛を与えるような雰囲気作りをする。

6 人権教育とのかかわり

現代は、自分に対しては甘く見る反面、他者に対しては厳しく批判的な目で見える傾向にある。自分に対して甘く見るとは、それは、言い換えてみれば、自分を本当の意味で大切にしているわけではなく、できる努力を怠り自分の可能性の芽を自分から摘み取ってしまうとも言える。努力や苦労の経験の乏しい人は、他者の気持ちなどを慮ることができないはずがない。自分自身も大切にしたい人生を送り、他者に対していつも温かい目で見えあげられるような社会にしていけることが大切であると思われる。

そんな現状を踏まえ、小学校の最終学年であり、中学生生活を目前としている児童は、知・徳・体のバランスが取れた日々を送り、自信を持った生き方をし、周りの人の考えや思いを温かく受け止めていこうとする態度を身に付けることが必要である。

そこで、今の自分たちの家庭での学習や遊びについての状況を示す資料をもとにその問題点に気づかせたり、工夫をしている児童の話、その保護者の考えや我が子に対する思いを聞くことで級友の努力の様子を知らせたりして、今後の自分の家庭生活に工夫を加えさせるような学習活動を取り入れる。

【育てたい能力・態度】

感性：学習を通して、家庭での学習や遊びについての自分の問題点に気づき、改善して、充実した家庭生活を送ろうとする。

7 指導・評価計画

時間	主な学習活動	学習活動への支援及び留意点 (校内研修や人権教育・社会福祉教育にかかわる配慮事項には など)	観点主な評価項目 (方法)
事前	家庭における学習や遊びにかかわる調査への回答 調査結果・分析を班ごとに分担して模造紙にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 現在の状況について、正直に記述できるような言葉かけをする。 視覚的に理解しやすいようにグラフ等を使うようアドバイスする。 自分たちなりに気づくことをまとめさせる。 	<p>【観】 級友たちの現状について知り、問題点をまとめている。 (模造紙への記述内容)</p>
1 本時	自分や級友の学習や遊びについての問題点に気づく。 工夫している児童やその保護者の話を聞き、「目指す姿」について、共通理解する。 家庭生活(学習・遊びなど)を改善すべく、工夫を加える。	<ul style="list-style-type: none"> 班ごとに発表させることで、主体的な活動の場を設定する。 級友の工夫の様子や我が子に対する保護者の期待や温かい思いなどに気づかせるような働きかけをする。 「『学習と遊び』充実作戦」カードに具体的に記入させる。 	<p>【理】 工夫の必要性があることを理解している。(発言内容、学習カードへの記述内容)</p> <p>【関】 学習や遊びなどについて工夫を加えようとしている。(学習カードへの記述内容)</p>
事後	自宅において「『学習と遊び』充実作戦」カードを掲示する。 実践活動「学習と遊びの歩み」カードへの記述	<ul style="list-style-type: none"> 励ましの声かけや「学習と遊びの歩み」カードへの賞賛のコメントの記述をすることで、実践意欲を継続させる。 学級通信や朝の会等で努力できている児童の紹介をすることで、集団としての実践意欲を喚起させる。 	<p>【関】 学習や遊びのバランスを取ろうと努力をしている。(「学習と遊びの歩み」カードへの記述内容、保護者の声)</p>

8 本時の学習

(1) 活動のねらい

家庭における自分の学習や遊びについての問題点に気づき、「目指す姿」に向けて、自分なりに工夫を加えようとすることができる。

(2) 準備

(教師) ビデオ「保護者へのインタビュー」、ポイントカード、「『学習と遊び』充実作戦」カード、プロジェクタ、スクリーン、ラジカセ(スピーカー用)、座席表(支援表)

(児童) アンケート結果(掲示用)、筆記用具、予定表(実践児童)

(3) 人権教育の視点

感性：学習を通して、家庭での学習や遊びについての自分の問題点に気づき、工夫ができている児童の話や保護者の話などを参考にして、今までの家庭生活を改善して、充実したものにしようとする。

・児童がまとめ発表している内容や発言している内容について、常に受容的な態度で聞き、賞賛の言葉をかけることで、学級全体が静かに真剣に聞くような雰囲気作りをする。

(4) 展開

学習過程	主な児童の活動	時間	支援及び留意点 (校内研修関連、人権教育・社会福祉教育的配慮には〰〰など)	観点 評価項目 おおむね 十分 (方法) 努力を要する児童への手だて
課題把握	学習課題をつかむ。 「家庭での学習や遊びなどについて工夫を加えよう!」 自分や級友の家庭での学習や遊びについての問題点に気づく。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに発表させることで、主体的な活動の場とする。 ・自分たちなりに気づいたことを発表させる。 ・班ごとの発表以外に気づいたことも発言させる。 ・発表に対して、賞賛の言葉がけをする。 ・発表を聞きながら、自分自身の改善点についてメモさせる。 	
課題追究	工夫している児童や工夫している児童の保護者の話(ビデオ)を聞く。 「目指す姿」について、共通理解する。	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>工夫している級友の保護者の我が子に対する期待や温かい思いなどに触れながら、工夫の様子についてまとめる。</u> ・その他の工夫している児童を意図的に指名することで、具体的な工夫について知らせる。(予定表、ノルマなど) ・発表を聞きながら、自分自身の改善点についてメモさせる。 	理 工夫の必要性があることを理解している。 工夫の必要性があることを具体的に理解している。 (発言内容、学習カードへの記述内容) 級友の発言内容を確認させたり、ビデオの内容を振り返らせたりする。

実践化への意欲付け	<p>家庭生活（学習・遊びなど）を改善すべく、具体的な努力や工夫について考える。</p> <p>・「『学習と遊び』充実作戦」カードへの記入発表</p>	15分	<p>・「『学習と遊び』充実作戦」カードに具体的に記入させる。</p> <p>・具体的な工夫について発表させることで、集団としての実践意欲を喚起させる。</p>	<p>関</p> <p>学習や遊びについて工夫を加えようとしている。</p> <p>学習や遊びについて具体的な工夫について考えて、バランスのある生活を実践しようとしている。</p> <p>（学習カードへの記述内容）</p> <p>自分の今の家庭生活を、今一度振り返らせ、工夫の必要性について自覚させ、具体例をアドバイスする。</p>
-----------	---	-----	--	---

9 参考資料

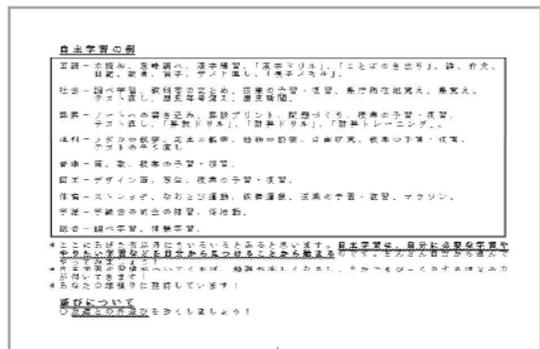
(1) 板書計画

課題 家庭での学習や遊びなどについて、工夫を加えよう!

学習	バ ラ ン ス	遊び
<p>今の姿 ⇨ めざす姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○十分にできていない子もいる ○読書 算ドリ・計ドリ 漢字スキル 漢字の練習 ○工夫なし…24人 ○忙しかったりしてできない 	<p>⇨ ⇩ ⇧ ⇦</p>	<p>めざす姿 ⇐ 今の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全員が、多くの友達と外で体を使った遊びを ○全員が工夫・予定表 ○時間のやりくり ○その日の予定に合わせて

(2) 資料

「学習と遊びの歩み」カード



() 月 () 日 ~ () 月 () 日

月日曜日	学 校 遊 び	生 活 自 主 学 習	遊 び	家 庭 宿 題	生 活 自 主 学 習	自 己 評 価 遊 び	自 己 評 価 学 習
(月)							
(火)							
(水)							
(木)							
(金)							
(土)							
(日)							

1 週間の反省		お家の人からのメッセージ	先生のサイン

『『学習と遊び』充実作戦』カード

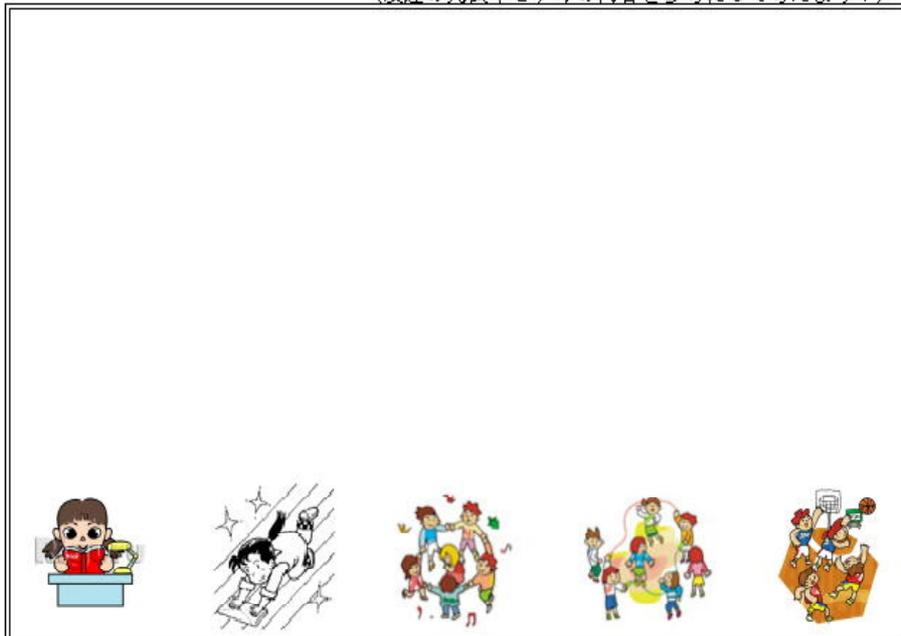
No. 1

6の1 () ()

○家庭における学習<自主学习>や遊びなどについて振り返ってみて、よい点や問題点を
書いてみよう！ (友達の発表やビデオを観て気づいたことをメモしてみよう！)

学 習	遊 び

○家庭における学習<自主学习>や遊びなどについて、どんな工夫をするか書いてみよう！
(友達の発表やビデオの内容を参考にして考えよう！)



『学習と遊び』充実作戦」カード

No. 2

家庭生活（学習・遊びなど）予定表

6の1（ ）（ ）

(例)

	3	4	5	6	7	8	9	10	11時
(月)	学 校	遊 び	宿 題	漢字ドリル 計算ドリル 英語	夕食	テレビ	入 浴	すいみん	

	3	4	5	6	7	8	9	10	11時
(月)									

	3	4	5	6	7	8	9	10	11時
(火)									

	3	4	5	6	7	8	9	10	11時
(水)									

	3	4	5	6	7	8	9	10	11時
(木)									

	3	4	5	6	7	8	9	10	11時
(金)									

	3	4	5	6	7	8	9	10	11時										
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11時
(土)																			

	3	4	5	6	7	8	9	10	11時										
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11時
(日)																			

(3) 座席表 (支援表)